

❖ 科目名 Course Title			
芸術と文学 漢文学入門			
❖ 担当教員 Instructor			
弓巾 和順			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	4 (遠隔) 5 程度 (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words	
漢文学, 劉向, 『列女伝』	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
<p>前漢の学者、劉向（前79?～前8?）が編集した『列女伝』は、中国古代の女性の伝記集である。そこには、いわゆる良妻賢母など、主として模範とされる女性の伝記が収録されるが、末尾には悪女の伝記も付せられている。また、後代には、各伝記に即して数種類の挿絵が描かれたという。本授業では、漢文学入門の素材として、『列女伝』の代表的文章をとりあげ、漢文訓読法を用いながら精読するとともに、以下の課題について考察する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各伝記において、ポイントとなる場面はどこか。 (2) 各伝記の主人公とされる女性について、編者の劉向は、そのいかなる言動を評価したか。 (3) 劉向が『列女伝』を編集したのは、どのような目的からか。 	
❖ 到達目標 Course Goals	
<ol style="list-style-type: none"> (1) 『列女伝』に見える伝記文学の特質を理解し、わかりやすく説明することができる。 (2) 『列女伝』に関する複数の絵画を読み解き、その特色を説明することができる。 (3) 漢文訓読法の基礎知識を身につけ、みずから漢文を読解することができる。 	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<p>全15回の授業計画は、次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業のガイダンス (2) 劉向と『列女伝』に関する解説 (3) 母儀伝の読解 (4) 母儀伝の考察 (5) 賢明伝の読解 (6) 賢明伝の考察 (7) 仁智伝の読解 (8) 仁智伝の考察 (9) 貞順伝の読解 (10) 貞順伝の考察 (11) 節義伝の読解 (12) 節義伝の考察 (13) 弁通伝の読解 (14) 弁通伝の考察 (15) 授業全体のまとめ 	
❖ 成績評価 Grading System	
<p>全授業への出席を前提とする。その上で、グループ討論と口頭発表などの各授業への貢献度、各授業最後の課題、さらに中間および学期末のレポートの内容などに基いて、総合的に評価する。</p>	
❖ テキスト Textbooks	
プリントを配付する。	

❖参考書Reading List
『列女伝（中国古典新書）』 / 荒木孝臣：明德出版社，1969 『列女伝（新編漢文選）』 / 山崎純一：明治書院，1996 『列女伝（東洋文庫）』 / 中島みどり：平凡社，2001
❖準備学習Homework
(1) 予習（読解の授業時）：あらかじめ配付された『列女伝』の文章をみずから読解すること。 (2) 予習（考察の授業時）：あらかじめ提示された『列女伝』に関する課題について、自分の意見をまとめて文章化すること。 (3) 復習：各授業でとりあげた『列女伝』の伝記のポイントと劉向の評価した点を再確認するとともに、レポート作成に向けて学習すること。
❖オフィスアワーOffice Hour
❖連絡先（E-mail）E-mail
❖質問・相談への対応方法Contact Information
❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。